

として、様々な事業者、団体の代表者から選定予定。後段のサポート業務予算減額は、協力隊の搬送数量減によるもの。

斎賀委員 バイオガス事業 検討支援業務における今年度の調査内容は。

梶係長 バイオガスプラントの建設及び運営主体の検討、事業資金調査検討、プラントの概算事業収支作成、参加希望する農家への説明を行い、集中型バイオガスプラントの整備に向けた検討を進める。

斎賀委員 町独自のプラント百頭型は手を付けないで、集中型にいくということか。個別型の3つのプランは止めるのか。

角山課長 プラントの選択肢が増えたので、その可能性を調査するということがご理解をいただきたい。

植村委員 公共施設総合管理計画策定事業の内容は。

渡邊主幹 本計画は平成28年度に策定し、5年経過している。当時なかった個別計画も踏まえ、また教育施設の長寿化計画を現在策



定しているため、国の指導もあり、令和4年度に改定を進めることとした。

植村委員 耐用年数が既に過ぎていく集会所の維持管理は。

野々村町長 農村部も人が減ってきているので、集約的な管理という方向性も視野に入れて考えていきたい。

《民生費》

無量谷委員 こざくら荘施設整備支援事業の内容は。

清水係長 特浴設備の経年劣化による更新。また、入浴に使用しているライナーリフトや車椅子に乗ったまま体重を測るバリアフリースケールスタンド器具等の更新を予定。

斎賀委員 冬の生活応援事業の灯油購入助成費について、これまでどおり助成するのか。

清水係長 例年と同様、1月1日現在の店舗価格で判断することとしている。

斎賀委員 こども園管理費の園庭遊具保守業務は認定こども園だけのものか。

鈴木園長 認定こども園に設置してある大型遊具のみの保守点検費用となる。

植村委員 高齢者対策の交通費助成事業の算出根拠は。

清水係長 交通費助成はカード交付時に発行した方、百90名、令和4年度、新規に該当する3百70名を含め5百60名の予算になる。

植村委員 長寿まつりで例年、紅白の饅頭を対象者に配付しているが、あまり好評でないとの話を聞いた。今後、牛乳の贈答券等に変

更できないか。

清水係長 それらの意見も踏まえ、今後検討する。

植村委員 こども園管理費の広域入所委託事業の予算増の理由は。

岡本係長 対象者1名は変わらないが、契約している保育士人数の加算等により増額となった。

西澤委員 市民後見人制度における社会福祉協議会の体制は。

山本主幹 現在、社会福祉士が欠員のままだが、引き続き募集を行うと聞いており、それらの人件費等も予算計上している。

西澤委員 老人福祉管理費の緊急通報システム設置台数は何件なのか。

清水係長 設置台数は12台。

西澤委員 行政報告で安心バトンの配置を引き続き行うとしていたが、その内容は。

山本主幹 安心バトンは、高齢化が進む中、一人暮らしや老夫婦世帯が増えることにより、体調の急変時などに家族が近くにいない場合、連絡がスムーズに取れるよう消防や病院、役場な

ど関係機関同士が情報共有できる仕組み。

《衛生費》

斎賀委員 不妊治療について、新しく保険適用になったが、今までどおりの内容で助成するのか。

長山係長 保険適用は承知しているが、これまで同様の補助をすることとしている。

斎賀委員 通常の保健センター管理費の修繕費とは別に、保健センター改修事業が予算計上されているがその理由は。

長山係長 保健センター職員が役場に移ってから2年経過したが、社会福祉協議会から1階に常駐する職員

がないことは不都合であるとの要望があり、これを受け、社会福祉協議会事務所を1階へ移転するための改修経費を別計上した。なお、旧事務室部分は、相談スペースや会議などでも使用できるように、可動式の壁を設置する予定。

植村委員 脳ドック検診は昨年度予算計上がなかった